

第1学年美術科学習指導案

指導者 福岡市立〇〇中学校 〇〇 〇〇

1. 学習の主題

色や配色に興味関心をもたせるとともに、自らの生活に活かそうとする態度を養う。

2. 題材名「色・ヒミツ・発見」～生活の色・いろいろ～

3. 指導観

私たちは色に囲まれて生活している。気分の沈むときに山に行き、緑の木々や青い空を目にすると心が癒される。また、街を歩くと店のショーウィンドウの配色に心が躍る。これらのことは、科学的に実証されている。

さらに、道路標識、信号の色によって、交通のルールを守っている。このように、色は人間に感情を引き起こさせたり、識別して生活を便利にする役割を果たしている。色は言葉を使わない視覚のコミュニケーションである。

色彩の授業を行った際に、有彩色、色相環、彩度などの聞き慣れない言葉が出てくると、「なかなか用語が頭に入らない。」「この色彩の授業で生活に何が役に立つのだろうか。」という生徒の声を耳にする。

色が身近なものとなり知識が生かされるために、実生活に直接関係するような色が身近に感じられる色彩の授業を行いたいと考えた。そしてそれが、造形活動の楽しさにつながるだけでなく、実生活に役立つもの、生活を豊かにするものになると考える。

学習指導要領の美術の目標にも、「楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。」とあるので、この教材は適していると考ええる。

本学級の生徒達は、アンケートの結果、小学校の図画工作に興味関心が高い。特に工作が好きと答える生徒が多い。一学期に絵文字の制作を行ったときは、熱心に発想や着色を行い、意欲的に取り組んだが、色使いに迷ったり、戸惑ったりする場面がみられた。また、何色と何色でどんな色がつくれるのかということを知らない生徒も多く、小学校で習得した色の知識にもばらつきが見られる。

本題材の指導にあたっては、まず、資料集や学習プリントを使って、色の三属性や色の感情などの色彩の基礎知識を学習する。色占いなども間に挟みながら色への興味関心を高めていきたい。夏休みの課題では、色彩の基礎知識をもとに、日常生活の中にある配色を採集することを行う。雑誌やお菓子のパッケージなどから様々な配色を見つけ出し、日常生活の中に色が生かされていることに気づかせたい。次に、日常生活に関する色の問題プリントを、個人や班で考えていく問題解決学習を行う。班での作業を行うことによって、人の意見を尊重したり、自分とは違う意見に刺激を受けると考える。

4. 題材の目標

色の性質や特性に興味関心をもつ。(関心・意欲)

色の知識を活用して、色選びや配色を考え出すことができる。(発想)

様々な色が日常生活に活かされていることに気付き、色彩の大切さを感じることができる。(鑑賞)

5. 本題材における評価

評価規準と評価方法

	関心・意欲・態度
評価規準	ア 色彩の問題に積極的に考え、自分なりの答えを出す態度。 (学習プリント記述、様相観察)
	イ 自分の考えた配色や思いを他者に伝えようとする態度。 (発表、様相観察)

	発想や構想の能力
評価規準	ウ 色彩の知識を活用して、自分なりに発想、構想を深めることができる。 (発表、学習プリント記述)
	エ 班での話し合いを通して、他者の意見を尊重し、違う意見から発想を広げることができる。 (発表、学習プリント記述)

	鑑賞の能力
評価規準	オ 色彩が日常生活に活かされていることに気づき、色彩の大切さに気づくことができる。 (学習プリント記述)

6. 指導計画

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1次・・・色の基礎知識を知る。 | 1時間 |
| 2次・・・日常生活で見つけた配色のまとめを行う。 | 1時間 |
| 3次・・・色の問題プリントを解きながら、知識を深める。 | 2時間 (本時 1/2) |

7. 本時目標

色彩の知識を活用し、他者の意見を聞きながら、色選び、配色を考え出すことができる。
(発想)

8 . 本時の評価

- ア 色彩の問題に積極的に考え、自分なりの答えを出そうとしている。
(関心、意欲、態度)
- イ 自分の考えた配色や思いを他者に伝えようとしている。 (関心、意欲、態度)
- エ 班での話し合いを通して、他者の意見を尊重し、違う意見から自分の発想を広げることがができる。
(発想や構想の能力)

9 . 本時授業仮説

問題解決学習を行うことによって、自分なりの感覚で色の組み合わせなどの感じをとらえることができるだろう。

班で考えることによって、他者の意見を尊重したり、違った意見に新しい見方を知るだろう。

上記の活動によって、色が日常生活に活かされていることに気づくだろう。

10 . 準備

教師側：色彩プリント、色彩パーツ、京都の写真、トータルカラー

生徒側：資料集、ファイル、筆記用具

11 . 本時の指導観

本時はまず、色彩プリントを使って、日常生活に関する色の問題を考えていく。最初は個人で考える時間をとり、次に班で料理の盛り付けに関する問題を解いていく。班で考えることによって、他者の意見を尊重することの大事さに気づいたり、自分とは違う意見に触発されて、発想が広がることに期待したい。作業するための食物のパーツを与え、いろんな組み合わせを考えていかせたい。自分の考えを周りに伝えることが苦手な生徒もいるので、自分で考えた意見を伝えることを、メモを書かせることやヒントを与えることによって支援していきたい。また、色が日常生活に活かされていることに気づかせたい。

12. 展開 平成20年10月1日(水)第5校時 美術室

学習活動	指導の留意点・支援・評価規準	形態	配時
<p>1 学習の目標を知る。</p> <p>目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>色彩の知識を活用し、他者の意見を聞きながら色選び、配色を考え出すことができる。</p> </div>		一斉	5
<p>2 色彩プリント を考える。</p>	<p>机間巡視を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Cの生徒への手だて 参考資料などを提示し、考えやすいところから進めるように助言する。</p> </div> <p>ア：色彩の問題を積極的に考え、自分なりの答えを出そうとしている。 (学習プリント分析、様相観察)</p>	個人	5
<p>3 の説明をする。</p>	<p>前次の復習をする。(色の強弱、色の見やすさ)</p>	一斉	5
<p>4 色彩プリント を考える。</p>	<p>目と手で考えるように色彩パーツを渡す。 机間巡視を行う。</p> <p>イ：自分の考えた配色や思いを意欲的に他者に伝えようとしている。(発表、様相観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に話し合いの係分担を指示しておく。 ・書いていても意見を出せない生徒にはこちらから働きかけをする。 <p>エ：他者の意見を聞いて、発想を広げているか。 (発表、学習プリント分析)</p>	班	15
<p>5 の各班で考えたものを黒板に貼り、説明を行う。</p>	<p>各班ごとに発表をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班のよいところを見つけて感想を伝える。 	班	12
<p>6 本時のまとめ 色選びや配色で考えたことについての感想を書く。 次時の予告をする。</p>	<p>本時を振り返り、次回は色彩のまとめをすることを伝える。</p>	一斉	8

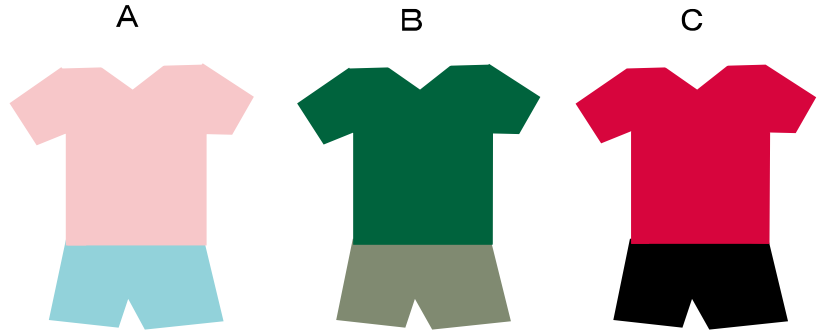
☆こんなとき、どんな配色にしたらいいの？

色について悩んでいる人がいます。あなたの配色センスで、解決してみましょう。

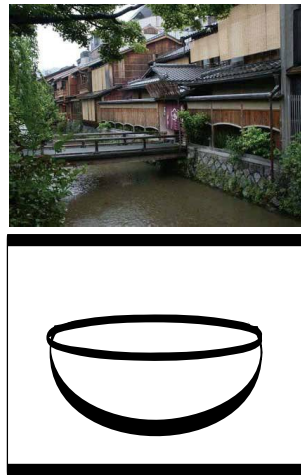
①ここは危険なものがあるから、遠くからでも見える配色にしないとね



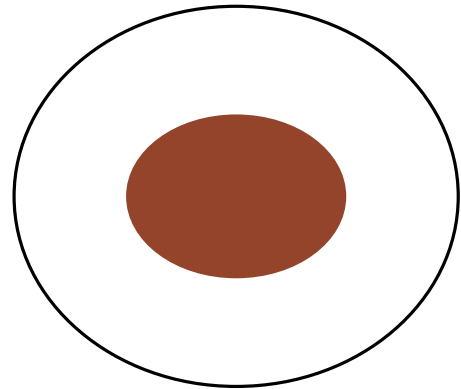
②うちのチーム、もっと強そうなユニホームにしたいな。どれがいい？



京都にあるマークの色を
考えてみよう。



④なんか、ハンバーグがくすんで見えるんだよな。
別の食材を加えて、おいしそうに見せたいな。



①のマークの後ろの色

その理由

②で選んだユニフォーム

その理由

組・名前